

緩和ケア入院のご案内

病棟スタッフと緩和ケアチームが協力し、
よりよい療養ができるよう支援していきます。



入院の目標

病気そのものの治癒や延命よりは、病気によるつらい症状や悩みをしっかりと評価して、できるだけ和らげることで、これからよりよい生活ができるようにすることを目指します。

特定の治療や方針を押し付けることなく、患者さんやご家族の「こうしたい」「こうしてほしい」に沿っていきたいと思います。

逆に、患者さんが苦痛を感じるような検査・治療・制約はできるだけしない方針です。どんな療養を望まれるのか、イメージやご希望をお伝えください。

入院期間

- なるべく短期間を目指します。
- 退院が難しいと思われる方には、その理由を一緒にみなおし、できるだけもとのような生活が続けられるよう相談、支援していきます。
- 当院には緩和ケア病棟はありません。
一般病床では、病状が安定している場合には長期入院ができません。
- リハビリ目的で長期療養される方には、地域包括ケア病棟（6階）への転棟を相談させていただきます。
- 緩和ケア病棟、療養型病院、施設などを希望される方には紹介を行います。
- いちど退院されても、必要あればいつでも再入院を受け付けています。
- スタッフも日常業務が多く、コールにすぐ駆けつける・ゆっくりお話を聞くなどの対応がどうしてもできない場合もありますのでご了承のうえ、どうぞ我慢せず早めにお声かけください。



入院されてから

緩和ケアチーム（医師、外来/病棟看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、作業療法士、歯科衛生士、臨床心理士）の全8職種のメンバーが、それぞれ必要に応じて病室を訪問します。

お気軽にご相談ください。また、訪問時に体調によりお話できないという場合も遠慮なくお伝えください。



緩和治療を担当する
医師

おかじま あきこ
岡島 明子

(外科学会専門医・消化器
外科学会指導医/専門医)

それまでの主治医の先生から引き継ぎを受けて、緩和治療を行います。
平日9時～17時で、入院・外来の患者さんの診療にあたっております。
それ以外の時間帯、夜間休日にも電話などで随時対応していますので、何かありましたらまずは病棟看護師までご相談ください。



緩和ケアチームの
看護師代表

さとう しんじ
佐藤 真嗣

(がん性疼痛看護分野
教育課程終了)

毎週 木曜日 14時ごろ～ 緩和ケアチームの薬剤師や看護師と共に病棟回診を行います。
痛みの具合、食事・お薬・睡眠・排泄などの問題、生活の困りごと、そのほか何でも気がかりがあればお気軽にご相談ください。



緩和ケアチームの心理・
メンタルケア担当

しみず さとこ
清水 智子

(臨床心理士)

お気持ちに寄り添う心の専門家です。
病気のこと、人生のこと、ご家族のことなど、どのような内容でも静かに耳を傾けお話を聞かせていただきます。
毎週 水曜日 14時ごろ～病棟回診（一部）を行います。
面談希望のある方はお申し出ください。
ご家族の方も別にお話を伺うこともできますのでぜひご相談ください。